

NHKにおける 放送番組の保存・活用・公開

平成30年11月30日

日本放送協会

1. アーカイブスの役割



2. 保存

アーカイブス情報システムに保存されているニュース・番組（平成29年度末）

	番組映像(件)	ニュース映像(項目)	ニュース原稿(本)
本部	81万4000	225万2000	136万1118
地域放送局	15万5000	534万2000	
全国計	96万9000	759万4000	

このほかの保存

○レコード34万枚(川口)

○写真49万枚(川口)

○音楽CD33.9万件 ○図書・雑誌22.1万冊 ○楽譜8.7万冊(渋谷)



3. 活用

- ニュース・番組の制作に活用

- ① ニュースや番組での映像素材としての活用



NHK映像ファイル あの人に会いたい

放送 総合テレビ 土曜 午前5時40分～ Eテレ 金曜 午後1時50分～

亡くなった著名人のインタビューを精選し、その人ならではの人生や優れた業績をなした秘訣など、心に響く珠玉の名言の数々を伝えます。

- ② 番組の再放送

番組をそのまま再放送したり、再構成して視聴者に届ける取り組みも行っている。



あの日 あの時 あの番組

放送 総合テレビ 日曜 午後1時50分～

テレビが始まって60年余り、過去の映像記録や名作番組という“NHKの宝”を、“いま”の視点でもう一度見つめなおす、新しい発見に満ちた番組です。



プレミアムカフェ

放送 BSプレミアム 月～金曜 午前9時00分～（再）月～金曜 深夜0時45分～ほか

NHKのBSや総合テレビで放送された番組の中から、反響の大きかったものをゲストを交えてご覧いただけます。

3. 活用



4Kでよみがえるあの番組「新日本紀行」

放送 BS4K 土曜 午前 8時00分～ (再)日曜 午後11時00分～

16ミリカラーフィルムを4KHDR化し、鮮明な映像によみがえった「新日本紀行」などをご覧ください。



- 外部への提供

国内外の放送事業者等に対し、番組や映像素材を提供しているほか、航空機内での上映、企業・団体等での教育・研修、さらにイベント上映等での利用のための提供も行っている。

4. 公開／番組公開ライブラリー

- 過去に放送したテレビ、ラジオ番組1万本以上を無料で視聴
- 全国のNHKの施設57か所に設置
- NHKの施設での公開を前提に権利処理
- 全国での利用者は年間13万人、
2003年からのべ246万人(2018.10現在)

【イベントでの番組公開ライブラリーの活用】

川口のアーカイブスでは「レッツゴーヤング」や「ステージ101」などの懐かしい番組を当時の出演者と一緒に楽しんでもらうイベントを開催している。



4. 公開／ネット展開

【アーカイブスポータル】



- 約1万7,600本の動画クリップをテーマ別にインターネットで公開
- サイトは月間60万人が訪問
- ネットでの公開もそれぞれの利用ごとに権利処理

- NHK名作選 みのがし なつかし
NHKの名作番組・ニュースのダイジェスト動画を視聴できる。
動画・・・約2,500本
- 動画で見るニッポン・みちしる
NHKアーカイブスに蓄積された番組やBSプレミアム「新日本風記」から選りすぐりの地域文化を紹介する映像を公開。
動画・・・約3,800本
- NHK人×物×録
旬の出演者など約2000名を出演番組動画で紹介。独自のインタビューをSNSで配信。
動画・・・約1,400本
- 戦争・戦後史証言アーカイブス
「戦争体験」を後世に伝えるため、貴重な証言や戦争関連番組などを公開。
動画・音声・・・約2,500本
- 東日本大震災アーカイブス
東日本大震災で被災した人々の証言を中心にNHKが持つ、震災に関わる映像を公開。
動画・音声・・・約2,100本
- クリエイティブライブラリー
番組などから切り出した映像や音声を、視聴者のみなさんの表現・創作活動に利用していただくサービス。
動画・音声・・・約5,300本

4. 公開／その他の取り組み



- ティーチャーズ・ライブラリー

NHKスペシャルなどの一般番組をDVD化し、学校に無料で貸し出して授業や教育活動に利用していただくサービス。「平和」、「キャリア」、「ともに生きる」、「情報」、「防災」、「環境」、「学ぶ楽しさ」の7つのカテゴリで計230タイトルを貸し出している。

年間貸し出し件数・・・約3,000件



- 学術利用トライアル

大学などの研究者に向けて研究テーマを公募。審査のうえ、番組を閲覧していただき、学術的な研究に役立てるプロジェクト。NHK放送博物館、NHK大阪放送局で閲覧し、研究論文、学会発表につなげてもらう。

累計研究者数・・・約130組

5. その他の利活用

インターネットで多角的に公開

- 「NHK for school」
教育コンテンツをインターネットで配信し、小中学校を中心に利用してもらうサービス。
放送された学校放送番組およそ2,000本あまりと、動画クリップ約7,000本を配信。
- NHKオンデマンド(有償)
ニュース・番組の「見逃し」のほか、「特選ライブラリー」には、NHKアーカイブスから厳選した名作ドラマやドキュメンタリー番組など、約6,000本をラインアップして配信。

国立国会図書館との連携

- 東日本大震災 アーカイブ「ひなぎく」
NHKアーカイブスポータルとの東日本大震災アーカイブスとAPI連携。
- デジタルアーカイブ “ジャパンサーチ” との連携
内閣府知的財産戦略推進事務局が中心となり進めているデジタルアーカイブジャパン構想に基づき、2020年を目標に、国の分野横断的統合ポータル「ジャパンサーチ」に「動画で見るにっぽん・みちしる」のコンテンツをAPI連携していく予定。

6. 活用・公開のために必要なこと

著作権等の権利処理

- 放送番組は様々な権利者が数多く含まれており、保存した番組を利用するためには、改めて権利者から許諾を得て、対価を支払うことが必要。
- 権利者が不明だったり、権利者から許諾を得られない場合もある。

【権利処理が必要な対象】

- ・原作者、脚本家、作詞・作曲家、俳優・歌手などの出演者など ⇒ 権利者団体に所属していない権利者も多い
- ・外部調達映像、写真、美術品、協力者など
- ・NHKが放送権を購入しているもの(スポーツ、舞台、コンサート、購入番組など)

人権・プライバシーへの配慮

- 特にドキュメンタリー番組などにおいては、放送後の出演者を巡る状況や、社会通念の変化等に配慮し、活用の可否を判断する必要がある。

メタデータ・権利情報の充実が不可欠

- 放送日時、出演者等の情報だけでは検索・利活用には不十分。
- 過去番組の多くは、メタデータや権利情報が不十分なものが多く、権利処理にコストがかかる。